

団体名：

杉並区地域包括支援センターケア24成田



開設：2006年

代表者名：川崎 裕彰

職員：9名

担当地域：阿佐谷南3丁目
成田西1～4丁目、成田東2・
5丁目、浜田山4丁目

杉並区が運営を委託している高齢者の総合相談窓口として、高齢者がいつまでも、住み慣れた地域でいきいきと生活できるよう支援しています。

個別の相談対応のみならず、地域住民や地域団体とのコミュニケーションから地域ニーズを見出し、居場所づくりや地域活動、いきがい支援など、多職種による幅広い視点で地域づくりを行っています。

地域包括ケアシステム構築プロセス

第1ステップ

地域の把握

地域資源や地域
ニーズを知る

第2ステップ

地域と共有

地域資源や地域
ニーズ、考え方を
共有する

第3ステップ

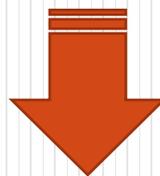
地域と実践

実際に取り組む

第1ステップ

地域資源や地域ニーズを知る

- 個別ケース対応
- たすけあいネットワーク(地域の目)地域連絡会における情報提供
- 地域住民（地域団体）とのコミュニケーション



職員1人ひとりが意識を持って、地域の情報を収集している！

吸い上げた地域情報を
センター内で共有

第2ステップ

地域資源や地域ニーズ、考え方を共有する

『地域づくり懇談会』

1回目

- ・「地域包括ケアシステム推進に向けて」(説明：ケア24成田)
- ・理想の地域、地域に足りないもの、ことについて共有

2回目

- ・ワールドカフェ形式で、「地域の困りごと、数年後の理想の地域」について共有

『成田なかまづくり計画 ～地域の声から生まれる新たな絆～』

1回目

- ・「地域包括ケアシステム」について(講師：杉並区社会福祉協議会)
- ・先進事例の発表によりイメージを膨らませる
- ・住民が求めている“なかま”、興味・関心のある活動について共有

2回目

- ・「地域のネットワーク」について(講師：すぎなみ協働プラザ)
- ・住民が捉えている地域(なかま、居場所)の理想と現実、実現の為に必要なことについて共有
- ・地域活動をするための情報提供

H28年7月

『成田なかまづくり計画
～地域の声から生まれる
新たな絆～』

テーマ:あなたのご近所の仲間
や居場所について、将来、こう
なっていたらいいなと思うこと
は？



テーマ:実現するために必要な
こと、利用できそうな人、モノ、
コトは？

第3ステップ 実際に取り組む

地域で活躍している人のようにはできないし・・・。

地域のために何かしたい。活動もしてみたいけど、何から始めれば良いんだろう？

地域住民

地域団体

誰かの応援やサポートならできるけど、自分が中心になってやるのはちょっと負担だなあ・・・。

場所も予算が必要だから、役所が動くべきだ！

プロジェクト名：地域資源力向上



～本音で本気のリノベーション～

『成田なかまづくり計画～地域の声からうまれる新たな絆～』開催

●今後の重点的な取り組みを検討●

地域の声を整理し、“地域資源向上ワークショップ”に向けた企画のプランニング

伴走支援が必要

東京ホームタウンプロジェクト
アドバイザー

コミュニティソーシャルワークのスキルUP

ファシリテートスキル/コーディネートスキルUP

地域資源力向上ワークショップ

地域住民

学校関連

NPO法人

若い世代

オブザーバー

- ・杉並区
- ・社会福祉法人杉並区社会福祉協議会
- ・NPO法人CBすぎなみプラスすぎなみ協働プラザ

*参加者の本音を引き出す企画運営
*明確な役割分担

伴走支援が必要

東京ホームタウンプロジェクト
アドバイザー

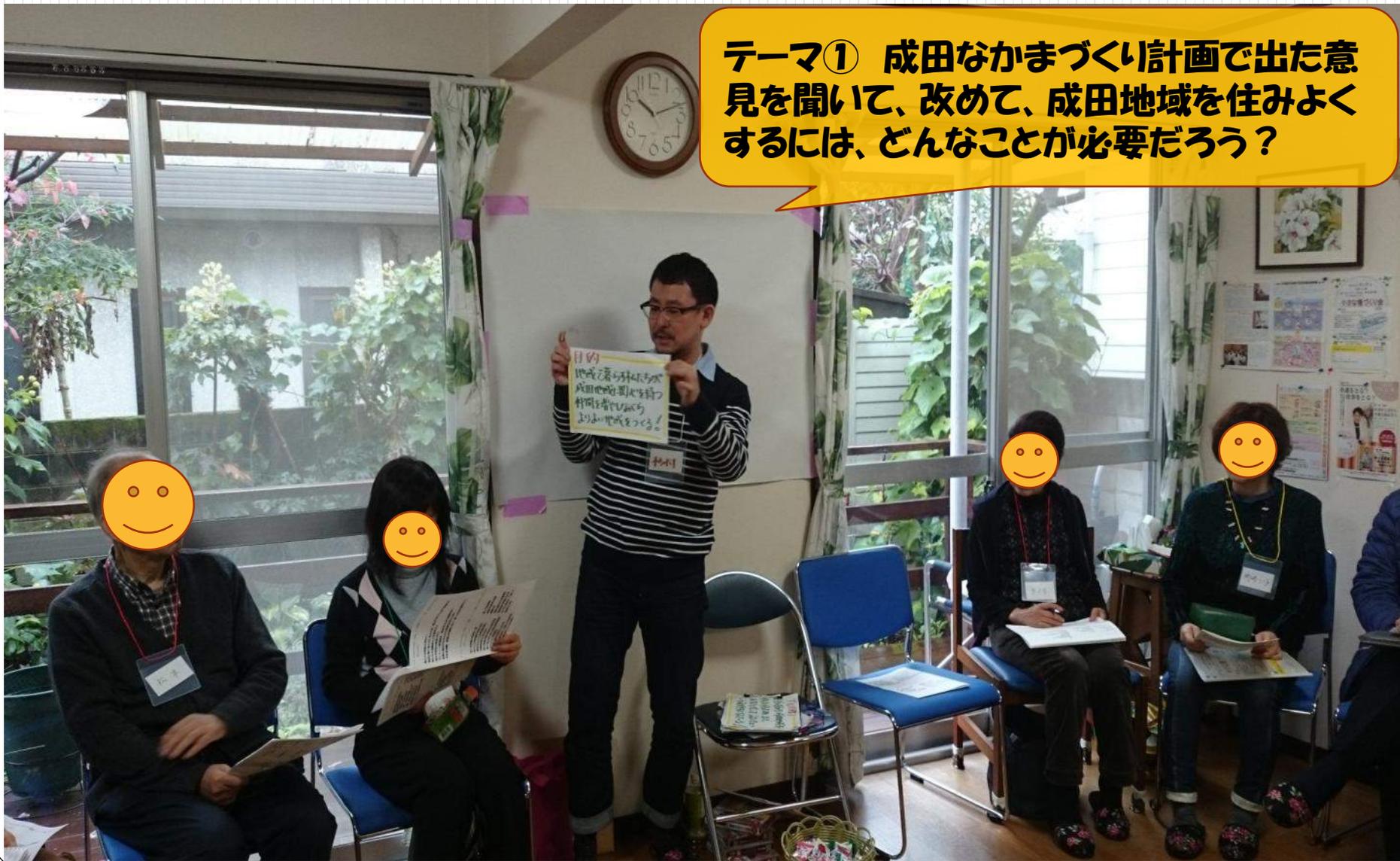
生活支援体制整備事業 協議体の前身となるネットワークの構築

地域資源力向上ワークショップ

場所：ほっとスペース成田西
なかまの家

H28年11月11日 『小さな場づくり会』（仮称）

テーマ① 成田なかまづくり計画で出た意見を聞いて、改めて、成田地域を住みよくするには、どんなことが必要だろう？



地域資源力向上ワークショップ



テーマ② 成田地域をより良く
するための一歩を踏み出すため
に私たちにできることはなんだ
ろう？

ワークショップ終了後は、おいしいランチが待っています♪



最後は次回開催日の確認も忘れずに！